

職場環境要件の取り組みについて

区分	内容
入職促進に向けた取り組み	・法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどを明確化し、周知・共有に取り組んでいます。
	・法人全体での職員採用、人事ローテーション、研修制度を構築し、実施しています。
	・経験者・有資格者等にこだわらない幅広い職員確保の仕組みを構築し、他業種からの転職者、主婦層、中高年齢者等を積極的に採用しています。
	・トライやるウィークの受入や高校生介護体験などを行い、また地域行事への参加、季節イベント主催による職業魅力向上の取組を実施しています。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	・法人で介護職員初任者研修養成講座を開校し、働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症介護研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援を実施しています。
	・管理者、所属長、プリセプターなど担当者によるキャリア面談などを行い、キャリアアップや働き方等に関する定期的な相談の機会を確保しています。
両立支援・多様な働き方の促進	・有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(付与日数のうち80%以上を取得)を定め、取得状況を定期的に確認し、所属長等からの積極的な声かけを実施しています。
	・有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいます。
腰痛を含む心身の健康管理	・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口を設置するなど、相談体制の充実に取り組んでいます。
	・職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等を実施しています。
	・事故やトラブル、緊急時対応等のマニュアルを作成し、体制の整備を行っています。
生産性向上のための取組	・現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施)に取り組んでいます。
	・5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)等の実践、事故の起こりにくいフロア職場環境の整備に取り組んでいます。
	・業務手順書の作成、記録システムの活用による情報共有等により、作業負担の軽減・業務効率化に取り組んでいます。
	・介護ソフト(記録システム)、情報端末(タブレット、スマートフォン)を導入しています。
	・業務内容の明確化と役割分担を行い、職員がケアに集中できる環境を整備しています。間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)は、シルバー人材センターを活用するなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を実施しています。
	・各種委員会の共同設置、マニュアル、指針、計画を法人本部で策定、物品購入等の事務処理を法人本部に集約、人事管理システムの共通化を実施し、職場環境の改善に取り組んでいます。
やりがい・働きがいの醸成	・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化を図り、個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善に取り組んでいます。
	・利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会を提供しています。
	・ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会を提供しています。